

シラバス記入用紙

授業科目名: 総合英語 I C

担当教員名: 岡村 光浩

履修上の注意: プレイスメント・テストの結果に基づき教学課が指定するクラス・時間帯の内から選んで受講することを原則とする。なお総合英語 II の履修には総合英語 I の単位取得が必須である。

授業目的・方針、到達目標(200 文字程度で)

「読む・書く・聞く・話す」の4技能を総合的に訓練する。まず教材(クラスにより異なる)の英文を声に出して読む/パートナーと会話練習することで英語のリズムを体に覚え込ませる。読み物の部分では、基礎英文法を確認しつつ文意を的確に把握する練習をすると共に、本文聞き取りや音読を反復練習する。教材についての感想を英語で話したり書いたりする練習も行っていく。英語で情報を input するための基礎力を鍛え、失敗を恐れず output する姿勢を身につけることを目標とするが、海外事情や文化についても、楽しみながら理解を深めてもらいたい。

授業内容(各回 30 文字程度で、15 回全てをご記入ください)

- 1: オリエンテーション(授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他)
- 2: Unit 1 Accepting Diversity 人間の多様性を享受する
- 3: Unit 1 (続き)
- 4: Unit 2 Fitness and Fatness 肥満度の評価と健康
- 5: Unit 3 Long Term Athlete Development 将来性を配慮したスポーツ指導
- 6: Unit 4 What is Social Welfare? 社会福祉一個人の問題から社会の問題へ
- 7: Unit 4 (続き)
- 8: Unit 5 Multicultural Japan 多文化化する日本社会とソーシャルワーク
- 9: Unit 5 (続き)
- 10: Unit 6 International Migration 国境を越える労働者
- 11: Unit 6 (続き)
- 12: Unit 7 Peace Studies 一人の平和は世界の平和になる希望
- 13: Unit 7 (続き)
- 14: Unit 8 Social Work Field Training 社会福祉教育における実習の重要性
- 15: Unit 8 (続き)、まとめ

評価方法(試験、レポート提出、課題提出など)

出席状況(重視)・平常点(宿題・予習状況・受講姿勢)・小テスト/提出課題・定期試験により総合的に評価する。
準備学習

中学・高校英語、特に基礎的な英文法と語彙を徹底的に復習しておくことが望ましい。

使用テキスト

中野洋子、ニューケリア・ドネリ『Living in Society: From People to Persons』南雲堂、2011 年

参考テキスト

鈴木希明編著『総合英語 be』いっぴいな書店、2009 年。ほか担当講師より随時紹介、またはプリント等を配布する。
各自準備物(受講の際、準備させる物があれば具体的に)

辞書(書籍版中辞典を推奨):学研『アンカーコズミカ英和』,大修館『ジーニアス英和』,三省堂『ウィズダム英和・和英』等
その他(注意事項、受講生へのメッセージなど)

1. テキストは総合英語 I C・II C で同じものを継続使用する。十分予習した上で授業に臨むことは大前提である。
2. 欠席は原則 4 回まで(予備登録期間含む)。なお遅刻 30 分以上は欠席扱いとする。
3. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。その他詳細は担当講師より指示する。